

COMBI

# マキシコシベビー

E4

ECE R 44/03  
03442905

品質保証書付

- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解のうえ、記載された内容に従い正しくお使いください。
- 本書は、シートクッション後ろ側の収納ボックスに保管してください。(P1参照)
- P38の品質保証書の欄に必要事項をご記入ください。
- このベビーシートは、ヨーロッパ基準 ECE R44/03 を取得しています。



本製品は、後向き専用です。

■お使いいただく前に .....	1
安全にお使いいただくために .....	1
各部のなまえ .....	2
本製品の3つの使いかた .....	3
フードの使いかた .....	5

■お子さまに合わせた各部の調節 .....	6
インナークッションの使いかた .....	7
お子さまの乗せかた .....	9
幼児ベルト通し穴の選びかた .....	11
幼児ベルトの長さ調節のしかた .....	14
各部の調節の完了チェックのしかた .....	14

■ベビーシートとして使う .....	15
取り付けできない座席 .....	15
安全にお使いいただくために .....	17
車への取り付けかた .....	22
シートベルトの種類と取り付け上の注意点 .....	23
取り付けの準備 .....	24
座席への取り付けかた .....	25
取り付け時の完了チェックのしかた .....	28
こんなときには .....	29

■ベビーキャリアとして使う .....	32
---------------------	----

■ロッキングチェアとして使う .....	33
----------------------	----

■お手入れのしかた .....	34
-----------------	----

■製品仕様 他 .....	38
---------------	----

# お使いいただく前に

このたびは、コンビ ベビーシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お使いいただく前に

ベビーシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。またベビーシートを使用するときには、必ず保護者の方が同乗してください。

ベビーシートが取り付けられるのは、3点式シートベルトの車です。

## ■3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



## お使いいただけるお子さまの条件

次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

- 体重：2.5kg以上～13kg未満のお子さま。  
(参考年齢…0カ月～18カ月ころ)
- 身長：ベビーシートに乗せ、頭頂部が本体から上に出ないお子さま。

# 安全にお使いいただくために

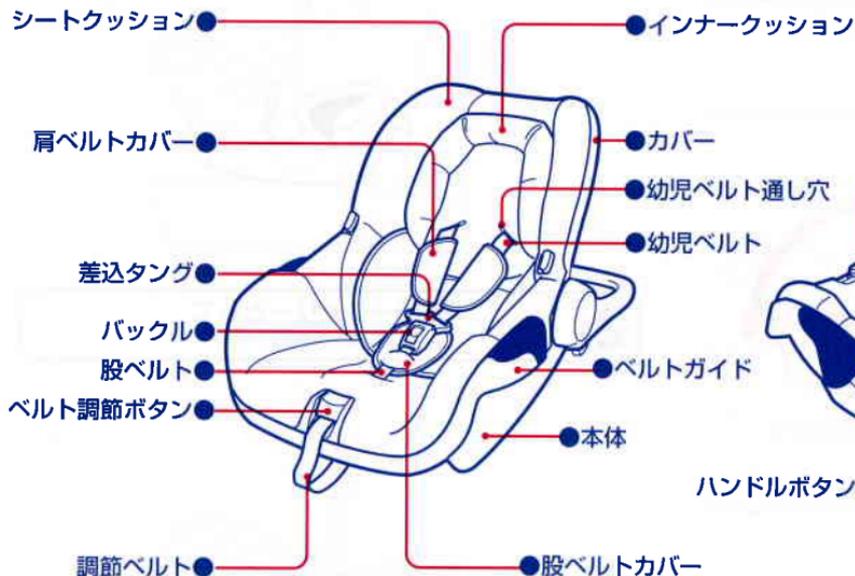
「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。

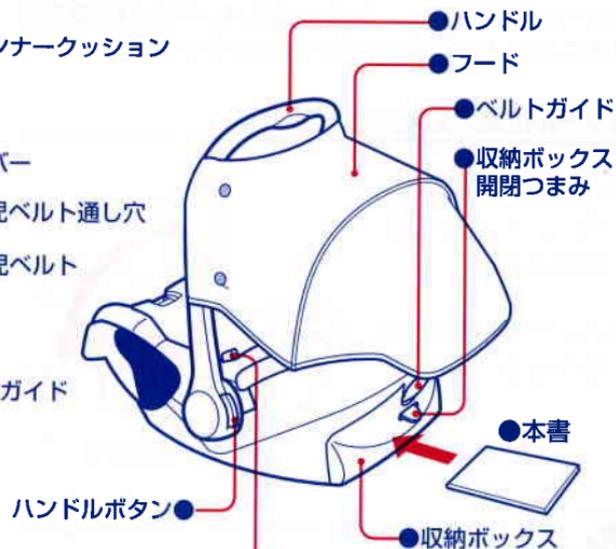
# 各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

## 正面



## 裏面・側面



※このボタンは、本機単品として  
お使いいただく場合には使用しません。

お使いいただく前に

# 本製品の3つの使いかた

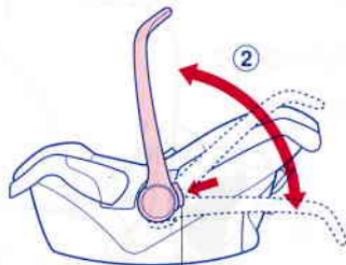
お使いいただく前に

ベビーシートを使用する前に、お子さまを乗せ、P1、P15～P16までの内容を確認してください。

このベビーシートは、次のようにハンドルの位置を変えることにより、3つの使いかたができます。

## ハンドル位置の変えかた

- ① ハンドル両脇の2つのハンドルボタンを同時に押し
- ② ハンドルを前後に移動させる



① ハンドルボタン

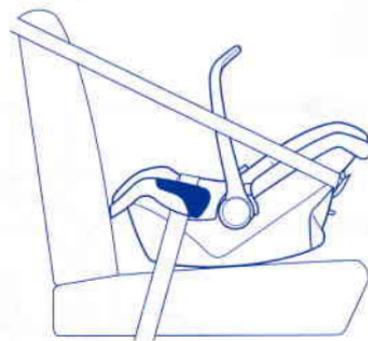
ワンポイント



- ハンドルが正しい位置になると、押し込まれたボタンが元位置に戻ります。

1

ベビーシートとして  
(P15-31参照)



2

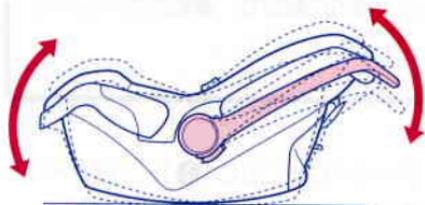
ベビーキャリーとして  
(P32参照)



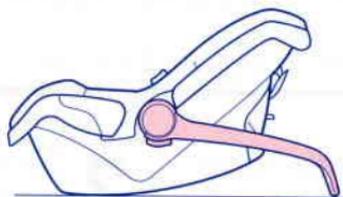
3

### ロッキングチェアとして

(P33参照)



<ロッキングチェアポジション>



<ロッキングチェア固定ポジション>

ロッキングチェアポジションにすると、ベビーシートはお子さまの動きによりゆっくりスイングします。

⚠  
注意

- ロッキングチェアとして使用する場合も、必ず差込タンクをバックルに差し込んでください。
- 車内では、絶対にロッキングチェアとして使用しないでください。
- 不安定な場所では、ロッキングチェアとして使用しないでください。

お使いいただく前に

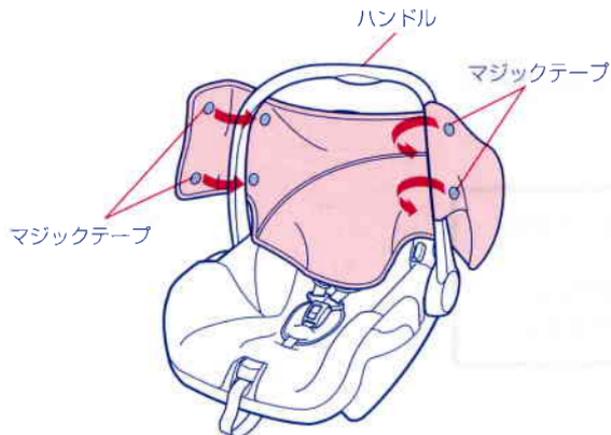
# フードの使いかた

フードは、お子さまを強い日射しから守ります。

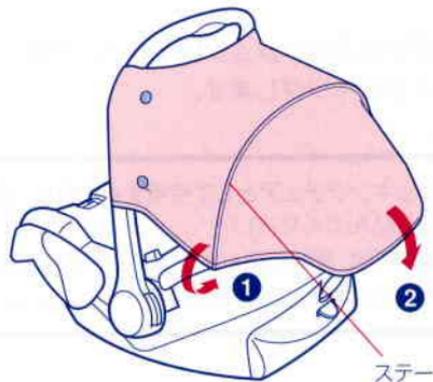
注意

- はずしたフードを車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。
- 使用しないときは、本体裏面の収納ボックスに収納してください。

**1** ハンドルを立てた状態で、フードのマジックテープ部をハンドルにかぶせるようにして留めます。



**2** フードのステーを外側に出し**(1)**、ベビーシートの上端の縁に合わせてかぶせます。**(2)**

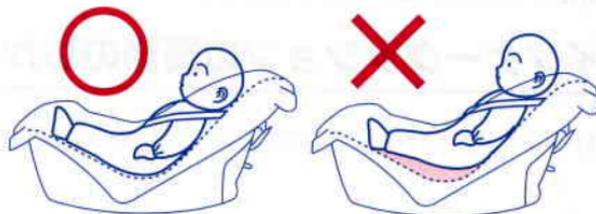


# お子さまに合わせた各部の調節

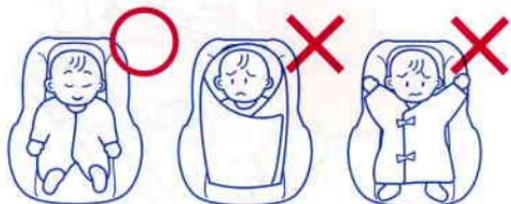
お子さまを乗せ、使用するベルト通し穴の位置をお子さまの体に合わせてください。



- お子さまをベビーシートに深く座らせてください。



- おくるみなど、両足が分かれぬ衣類の着用はおやめください。



- お子さまをタオルなどでくるんだまま、乗せない。
- かさばったベビーウェアを着せたまま、乗せない。

- お子さまを乗せるときには、下図のような乗せかたをしないでください。ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



- 寝袋に入れたまま、乗せない。
- ベビーウェアの中におもちゃなどを入れたまま、乗せない。

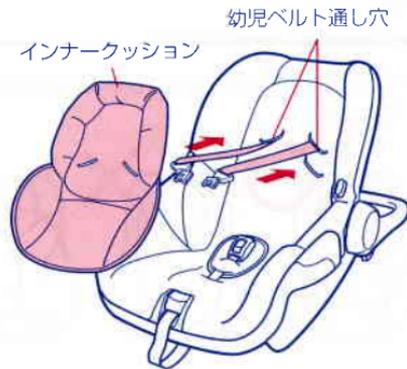
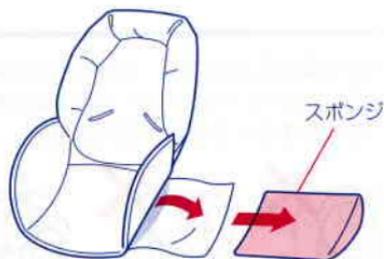
# インナークッションの使いかた

インナークッションは、低月齢のお子さまが、ベビーシートの中で正しい姿勢を保持するためのものです。

インナークッション下部のスポンジをはずしたり①、幼児ベルト通し穴の上下②により、お子さまの成長に合わせて調節することができます。

## インナークッションの調節のしかた

- ① インナークッション下部のスポンジを取りはずします。
- ② 幼児ベルトを、お子さまの体に合わせて幼児ベルト通し穴に通します。  
(11ページ参照)



ワンポイント



- ①または②どちらか片方を行うか、両方行って、お子さまの体に合うように調節してください。

## インナークッションのはずしかた

インナークッションを使わなくなるころの目安

月齢2、3カ月ころを目安に、お子さまの頭がインナークッションにつかえたら、インナークッションを取りはずしてください。

バックルボタンを押して差込タンクをはずし、幼児ベルトから肩ベルトカバーを引き抜き、インナークッションを取りはずします。



### ⚠ 低月齢期間のご注意

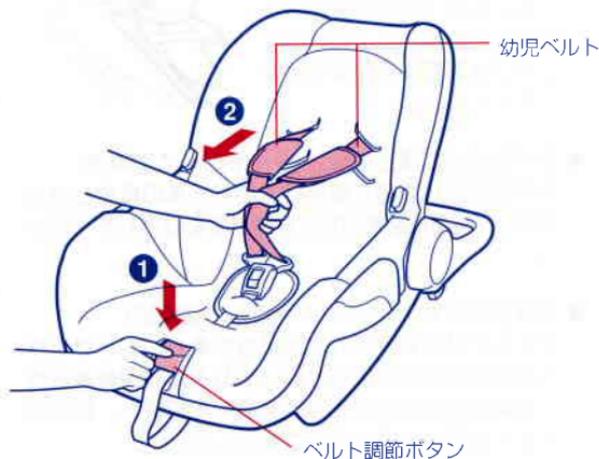
- お子さまの頭がインナークッションにつかえて首が曲がりたり、頭がインナークッションの上に乗ったまま使用しないでください。インナークッションを調節するか取りはずしてください。



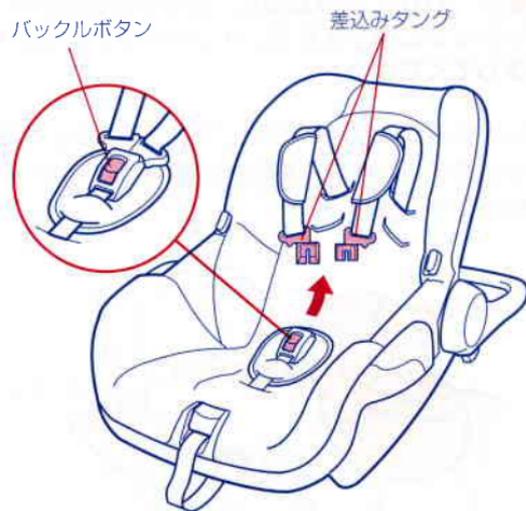
- 長時間使用の禁止(ベビーシートとして使用时)  
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間程度を目安に休憩をとるなどしてください。
- 保護者の同乗(ベビーシートとして使用时)  
できるだけ運転者以外に同乗者が乗り、お子さまから目を離さないでください。やむを得ず運転者以外に同乗者がいない場合は安全運転に留意し、休憩時などにお子さまの様子をご確認ください。

# お子さまの乗せかた

- 1 ベルト調節ボタンを押しながら、左右の幼児ベルトを一緒に手前に引き、ゆるめます。



- 2 バックルボタンを押して差込みタンクを抜きます。



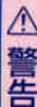
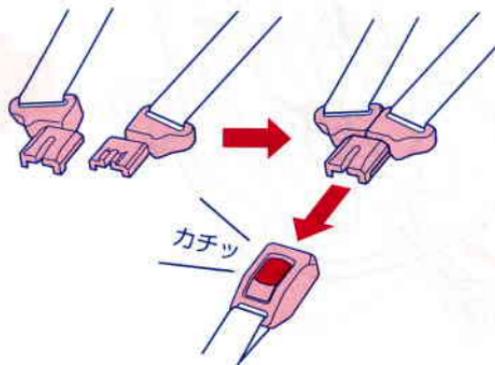
**3** お子さまを乗せ、左右の幼児ベルトを肩からかけます。



**4** 左右の差込タンクを重ね合わせてから「カチッ」と音がするまで、差込タンクをバックルに差し込みます。

左右を重ね合わせ

差し込む



警告

● 左右の幼児ベルトがねじれていないこと。

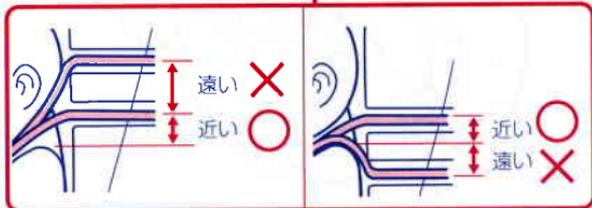
お子さまに合わせた各部の調節

- 5 調節ベルトを手前に引き、左右の幼児ベルトがお子さまの体にフィットするように調節します。



## 幼児ベルト通し穴の高さの目安

幼児ベルトは、近い位置の幼児ベルト通し穴に通してください。(工場出荷時は下段になっています)

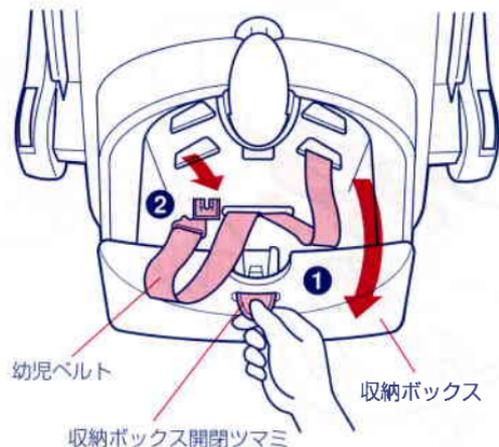


- 幼児ベルト通し穴の位置がお子さまの体に合っていないと、衝撃が加わったときに幼児ベルトが肩からはずれ、お子さまを正しく保持できません。

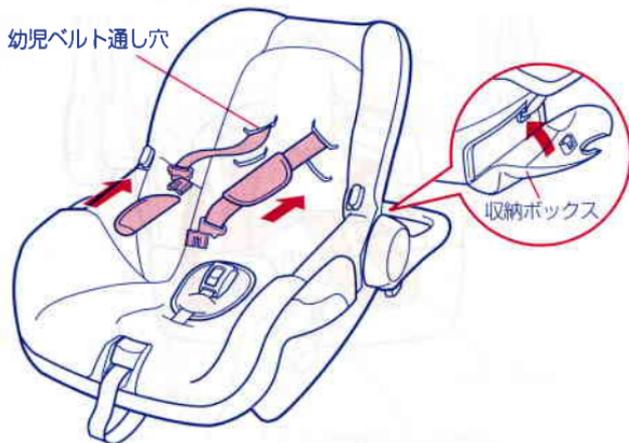
- 1** バックルボタンを押して差込タンクをはずし、幼児ベルトから肩ベルトカバーを引き抜きます。



- 2** 収納ボックス開閉ツマミを下に押し下げ、収納ボックスを開け、本体裏側から幼児ベルトを引き抜きます。



- 3** 幼児ベルトを、お子さまの体に合った幼児ベルト通し穴に通します。肩ベルトカバーを通し、収納ボックスを閉じます。



- 4** お子さまを乗せ、差込タンクをバックルに差し込み、肩ベルトの位置を確認します。



# 幼児ベルトの長さ調節のしかた

お子さまを乗せて、幼児ベルトがフィットするように長さを調節します。左右の幼児ベルトの長さと同じになるように調節してください。



警告

- 必ずベルトの長さを調節してください。
- 幼児ベルトにたるみがあると、衝突時などにお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

幼児ベルト



- 幼児ベルトを短くするには調節ベルトを引きます。

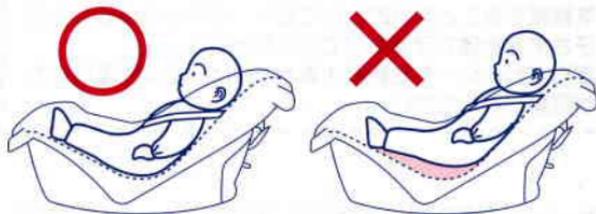


- 幼児ベルトを長くするにはカバーの下の調節ボタンを押しながら、幼児ベルトを手前に引きます。

調節ボタン

# 各部の調節の完了チェックのしかた

- ① お子さまがベビーシートに深く座っていること。



- ② インナークッションが正しく使われていること。  
(低月齢児のみ使用)

- ③ 正しい幼児ベルト通し穴にセットされていること。

- ④ 幼児ベルトにねじれやたるみのないこと。(お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度の長さに調節してください。)

- ⑤ 差込タンクがバックルに差し込まれていること。

- ⑥ 股ベルトがお子さまの両足に通っていること。



お子さまに合わせた各部の調節

# ベビーシートとして使う

ベビーシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。  
またベビーシートを使用するときには、必ず保護者の方が同乗してください。

ベビーシートが取り付けられるのは、3点式シートベルトの車です。

## ■3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



## お使いいただけるお子さまの条件

次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

- **体重**：2.5kg以上～13kg未満のお子さま。  
(参考年齢…0カ月～18カ月ころ)
- **身長**：ベビーシートに乗せ、**頭頂部が本体から上に出ない**お子さま。

# 取り付けできない座席

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、ベビーシートをしっかりと取り付けできない場合には使用しないでください。

- シートベルトの付いていない座席。



- 2点式シートベルトの座席。



- エアバッグ装備の座席。  
…サイドエアバッグのみの場合には使用できません。



- **パッシブシートベルトの座席。**  
(オートマチックシートベルト)

…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車に多くみられます。



- **進行方向に対して横向き、または後向きの座席。**



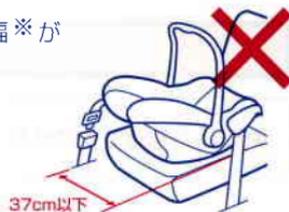
- **ベビーシートのベルトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。**



- **座面の奥行きが40cm未満の座席。**



- **シートベルトの取り付け幅※が37cm以下の場合。**



- **座面の凸凹が極端で不安定になる座席。**



- **極端なバケットシート。**

…座面の中央が極端にへこんでいる座席。



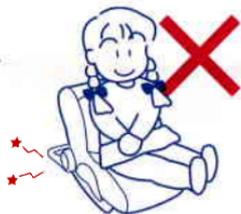
ベビーシートは前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめいたします。

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 危険

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- 使用条件に適合しないお子さま・座席では、使用しないでください。



- エアバッグが装着された座席では、ベビーシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



…サイドエアバッグのみの場合には使用できません。

- 安全のため、必ず後向きに取り付けてください。前向きでは絶対に使用しないでください。



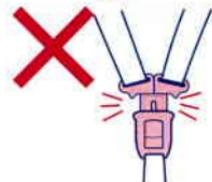
- 取扱説明書どおりにしっかりと取り付けできないときは、他の座席に取り付けてください。



- 車に取り付けるときは、必ず車のシートベルトで固定してください。ひもなど、シートベルト以外のもの  
で固定しないでください。



- 左右の差込タンクをしっかりとバックルに差し込んでください。



## ⚠ 警告

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- お子さまを車内に1人で放置しないでください。

日ざしの強い日などには、車内の温度も高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の元となります。必ず保護者の方が同乗してください。



- 幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 幼児ベルトに傷が付いたときは、ご使用をやめ、弊社のお客様相談室にお問い合わせください。



⚠ 警告

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タンクがバックルからはずれていないことを確認してください。



- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。



- 車の前座席に、ベビーシートを取り付け、助手席側のドアミラーが見えにくいときは、後座席に取り付けてください。



次のような使いかたは、同乗している方に危険をまねくおそれがあります。

- お子さまをベビーシートに乗せていないときでも、必ずシートベルトで固定しておいてください。急ブレーキや衝突時、運転者や同乗者にぶつかり、傷害を及ぼすおそれがあります。



- シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたさず場合は、後座席に取り付けてください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

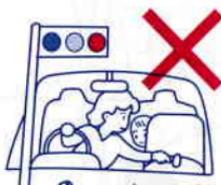


## ⚠ 注意

- 直接日光が当たると、本体や差込タンクなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部にさわり、やけどをしないことを確認してから使用してください。



- 走行中は、ベビーシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがベビーシートに触らないようにしてください。



- ベビーシートを改造したり、他の部品などと交換しないでください。また、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。



- ベビーシートを風雨にさらさないでください。



- 車の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、ベビーシートを取り付けしないでください。しっかり固定されません。



- 固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たるおそれがあります。



- シートフッションなどの縫製品や、ウレタン等のクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外の物と取り換えたりしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります)

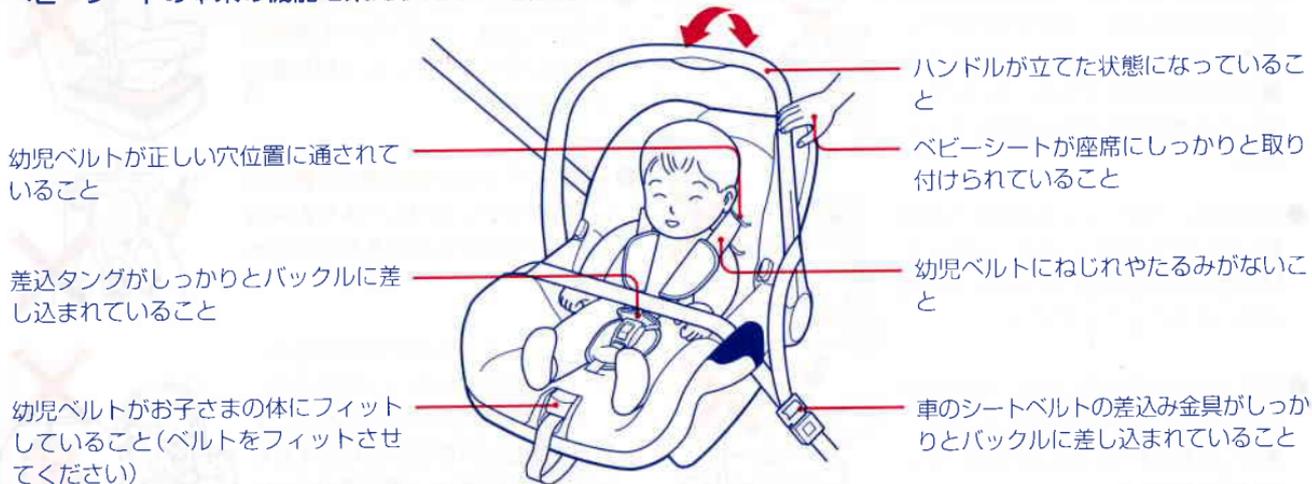


- 本製品を車の座席可動部やドアなどに挟まないように十分注意してください。



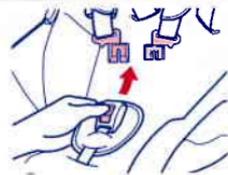
## ⚠ 日常の点検

ベビーシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。



## ⚠ 緊急時の脱出

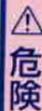
事故など緊急時は、保護者の方がバックルボタン(赤色)を押し、幼児ベルトをはずして、お子さまを車外に脱出させてください。



# 車への取り付けかた

ここでは、シートベルトの種類、取り付け上のご注意、および取り付けかたを説明しています。

※車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。詳しくは15～16ページを参照してください。



危険

- 3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席には、使用しないでください。
- ベビーシートがしっかりと取り付けできない場合は、本来の機能を果たさず危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- 車への取り付けは、ひもなど、シートベルト以外のものに取り付けしないでください。
- エアバッグが装着された座席では、ベビーシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。  
※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



警告

- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。
- 助手席にベビーシートを取り付けてドアミラーが見えにくい場合は、後座席に取り付けてください。
- お子さまを乗せていないときでも、ベビーシートは必ずシートベルトで常に取り付けておいてください。
- シフトレバーやサイドブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。
- 2ドア・3ドア車で後座席に人が乗る場合、緊急時の脱出の妨げになりますので助手席にベビーシートを取り付けしないでください。

# シートベルトの種類と取り付け上の注意点

ベビーシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なります。下表をご覧くださいになって、ご使用の車のシートベルトの種類をご確認ください。下表ではわからない場合には、車の取扱説明書をご覧ください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
● ELR付き3点式シートベルト ● ELR付き2点式シートベルト … ELRとは緊急ロック式ベルト巻き取り装置のことです。	通常は、ゆっくりと引くとベルトが自由に入出力し、急ブレーキや衝突などの衝撃を感知したときだけ固定機能が働き、ベルトが固定されるシートベルトです。	ベビーシートは、 <b>2点式シートベルトでは、使用できません。</b>
● A/ELR付きシートベルト (チャイルドシート固定機能付きシートベルト) … A/ELRとはALRとして使用できるELR巻き取り装置のことです。	通常は、ELRベルトとして機能しますが、ベルトを全部引き出すとELR機能が解除され、ベルトを戻すと自動的にロックされるシートベルトです。また、ベルトをすべて戻したときにはELR機能に戻ります。	取り付け作業時にALRが作動しないようにしてください。
● ALR付きシートベルト … ALRとは自動ロック式巻き取り装置のことです。	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出されなくなるシートベルトです。	ベビーシートを固定するのに十分なシートベルトを引き出して固定してください。
● NLR付きシートベルト … NLRとは非ロック式巻き取り装置のことです。	ロック機能のない巻き取り装置のことで、任意の位置で長さ調節して使用します。	ベビーシートに合わせてシートベルトの長さを調整し、固定してください。
● マニュアル式シートベルト	巻き取り装置の付いていないシートベルトのことです。	

## 3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



## 2点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



(2点式シートベルトには取り付けられません)

# 取り付けの準備

## 車側の準備

- ① 背もたれを、一番立てた状態にしてください。
- ② 高さ調節できるヘッドレストは、一番下まで下げてください。
- ③ 引き出し位置を調節できるシートベルトは、一番低い位置にしてください。
- ④ 前座席に取り付ける場合は、座席を一番後ろまで下げてください。



## ベビーシートの準備

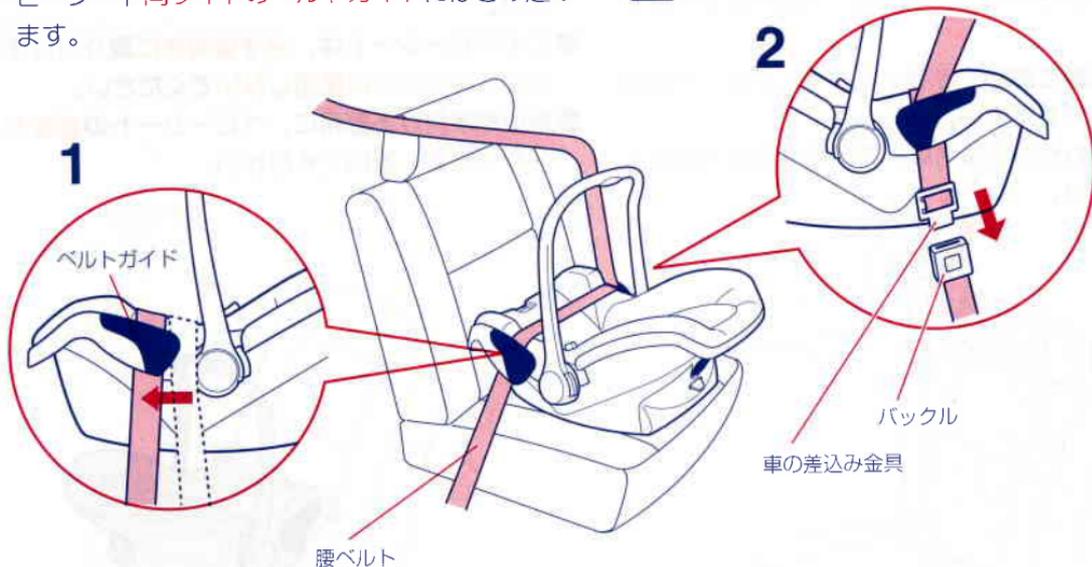
- ベビーシートのハンドルを立てた状態にしてください。
- このベビーシートは、必ず後向きに取り付けます。絶対に前向きでは使用しないでください。
- 車の取り付ける座席に、ベビーシートの底面をしっかりつけて、置いてください。



# 座席への取り付けかた

**1** 車のシートベルトを引き出し、腰ベルトを、ベビーシート両サイドのベルトガイドにはさみ込みます。

**2** 車の差込み金具をバックルに差し込みます。



ワンポイント



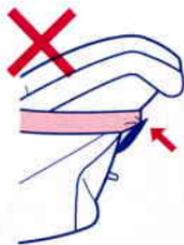
● ベルトガイドは両サイドと背面の青色部、3カ所です。

### 3 車の肩ベルトを、ベビーシート背面のベルトガイドにはさみ込みます。



#### ⚠ 警告

肩ベルトが、ベルトガイドのフックより下にしっかり挟み込まれていることを確認してください。



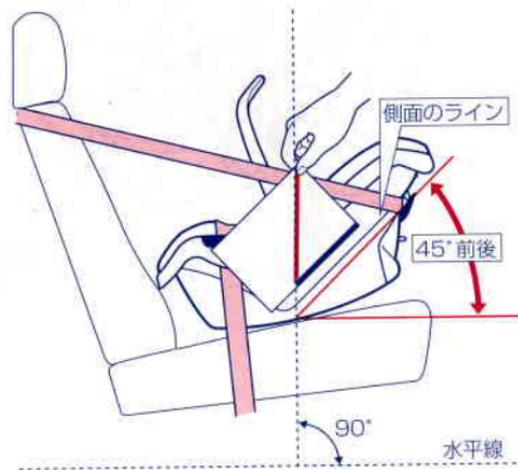
肩ベルトが、ハンドルの根元にかからないようにしてください。



- 4 ベビーシートに体重をかけて押し込みながら、車の肩ベルトを矢印の方向に引き、たるみをなくします。

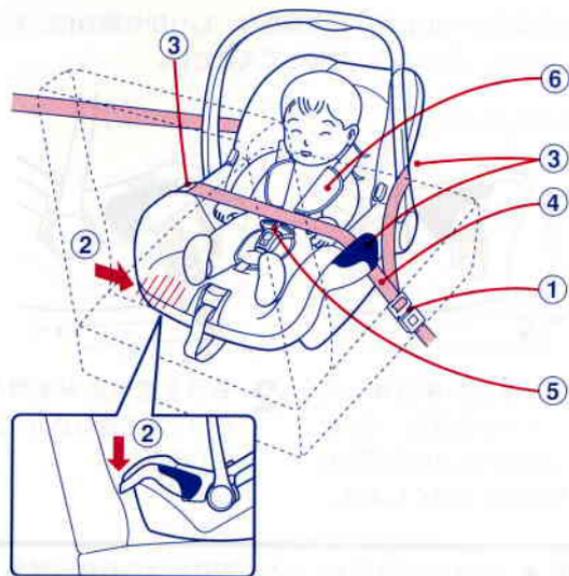


- 5 本書裏表紙の角度チェッカーをベビーシート側面のラインに合わせ、水平から約45°の角度になるように調節します。本書裏表紙の一边をベビーシート側面のラインに合わせ、角度チェッカーの赤いラインが垂直になるように調節してください。



# 取り付け時の完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、ベビーシートがしっかり取り付けられているか、次のことを確認してください。



- ① 車のシートベルトの差込み金具が、しっかりバックルに差し込まれていること。
- ② 車の背もたれとベビーシートの先端の接している部分に、手のひらが入るようなすきまがないこと。
- ③ 車のシートベルトが、青色の3つのベルトガイドに正しくはさまれていること。
- ④ お子さまを乗せた状態で、車のシートベルトにゆるみのないこと。
- ⑤ ベビーシートの差込タンクがしっかりバックルに差し込まれていること。
- ⑥ 幼児ベルトの調節が正しくされていること。  
(14ページを参照)

## ベビーキャリアと兼用でご使用の場合

お子さまを乗せたままでも、車への取り付け、取りはずしが可能です。



- これらの項目を確認し、しっかり取り付けできない場合は再調節してください。それでもしっかり取り付けできない場合は、他の座席に取り付けてください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

# こんなときには

## ベビーシートを、より確実に固定する方法

### ●後座席に取り付けた場合

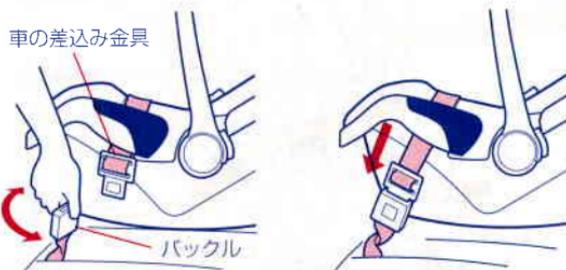
車の前座席を後ろにスライドさせ、ベビーシートの背面に接するようにしてください。より確実に固定できます。



- エアバッグが装着された座席では使用しないでください。エアバッグの作動による衝撃で、危険な状況になります。(装備されているのがサイドエアバッグのみの場合には使用できます)

## 差込み金具が、ベルトガイドに当たり不安定な場合

差込み金具がベルトガイドに当たり、しっかり取り付けできない場合は、図のように対応してください。



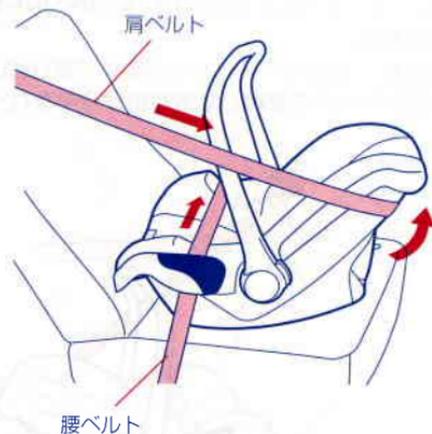
- 1 差込み金具をはずしてバックルを持ち、バックル側のベルトに数回ひねりを加えて短くします。
- 2 もう1度差込み金具をバックルに差し込み、固定します。



- ひねりを加えてもしっかり取り付けられない場合は、使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

## 車のシートベルトが短くて取り付けにくい場合

車のシートベルトが短くて取り付けにくい場合は、図のように対応してください。



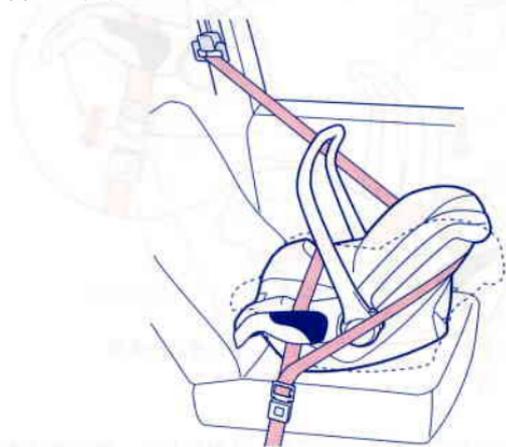
- 1 ベビーシートを少し立てて、腰ベルトと肩ベルトを通します。



- 2 ベビーシートに体重をかけて押し込みながら、車の差込み金具をバックルに差し込みます。体重をかけたまま、車の肩ベルトを矢印の方向に引き、たるみをなくします。

ALRが作動し、ベビーシートを正しい位置に取り付けできなくなった場合

A/ELR付きシートベルトで、取り付け作業時にALRが作動し、ベビーシートが正しい位置に取り付けできなくなった場合は、以下のように対応してください。



●ALR機能を解除する

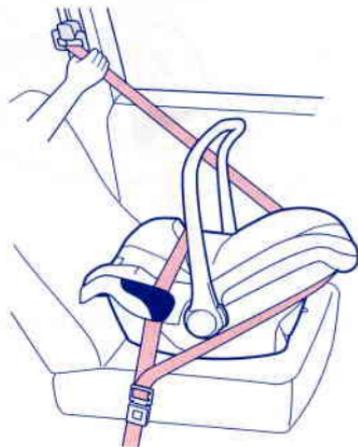
- ① いったん作業を中止し、バックルをはずします。
- ② シートベルトをすべて巻き戻し、ALR機能を解除します。

●再度、取り付ける

もう一度、最初から取り付け作業をやり直してください。

●どうしてもALRが作動してしまう場合

- ① シートベルトが全部引き出されてALR機能が作動しないように、シートベルト引き出し口近くのベルトを手でつかみ抑えます。
- ② そのまま、「車のシートベルトが短くて取り付けにくい場合」(30ページ)を参照して取り付け作業を行ってください。



ワンポイント



- 取り付けの際は、他の方に手伝っていただくことをおすすめします。

# ベビーキャリアとして使う

お子さまの乗せかた、幼児ベルト通し穴の選びかた、幼児ベルトの長さの調節のしかたは、P6～14を参照してください。

## ⚠ 警告

- お子さまを乗せるときは、必ず幼児ベルトの**差込タンクとバックルを固定**してください。
- ハンドルを肩にかけて持ち運ばないでください。お子さまを転落させたり、運んでいる方が転倒して、けがの原因となります。
- 階段、段差、坂道など、段差のある場所で**ぶつけないように十分注意**してください。お子さまを転落させたり、運んでいる方が転倒して、けがの原因となります。
- ベビーシートを、テーブルやいすの上など、落ちる危険性がある場所に置かないでください。転倒してけがの原因となります。



ハンドルをキャリアポジションにすると、お子さまをベビーシートに乗せたまま移動することができます。

### 持ち方 ①

ハンドルを握ってもつ



### 持ち方 ②

ハンドルをわきにかけ、もう一方の手で本体をつかむ。



## ⚠ 警告

- ハンドルがわきからすべり落ちる可能性がありますので、必ずもう一方の手で本体をつかんでください。

# ロッキングチェアとして使う

お子さまの乗せかた、幼児ベルト通し穴の選びかた、幼児ベルトの長さの調節のしかたは、P6~14を参照してください。

## 警告

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

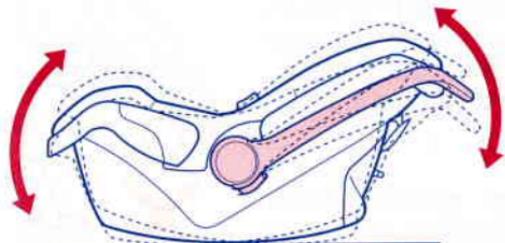
- 必ず、保護者の目の届く場所で使用してください。
- お子さまを乗せるときは、必ず幼児ベルトの差込タンクとバックルを固定し、ベルトにたるみがないように調節してください。
- 車内では、ロッキングチェアとしての使用はおやめください。
- テーブルやイスの上など落ちる危険性がある場所や階段・段差・傾斜のある所、またタイルなどすべりやすい場所での使用はおやめください。転倒してけがの原因となります。
- ストープの近くや、落下物の心配のある場所での使用はおやめください。
- 2人以上のお子さまを乗せないでください。
- お子さまの乗せ降ろしは、必ず保護者の方が行ってください。



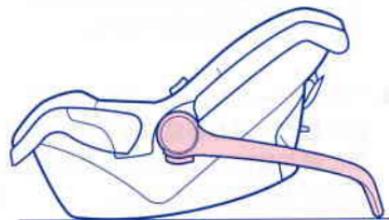
ハンドルをロッキングチェアポジションにして、手で軽く押してください。

ベビーシートがロッキングします。

また、ハンドルを固定ポジションにするとロッキングしませんので、チェアとしてお使いいただけます。



<ロッキングチェアポジション>



<ロッキングチェア固定ポジション>

# お手入れのしかた

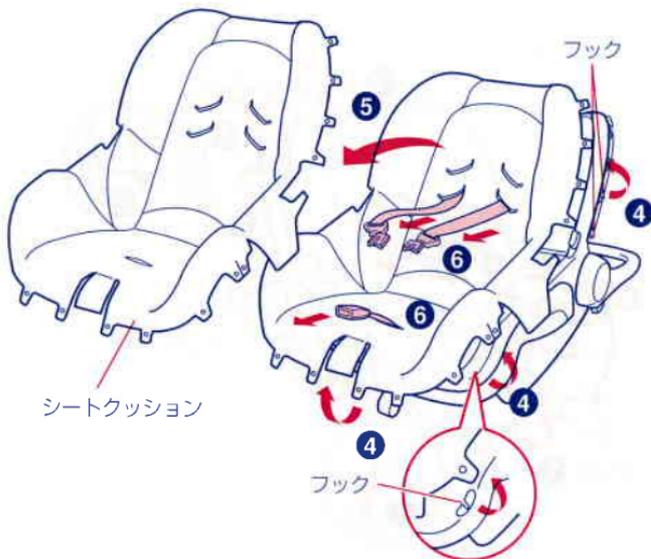
次ページに続く

## シートクッションのはずしかた

- 1 バックルボタンを押して差込タングをはずし、肩ベルトカバー、インナークッションを引き抜きます。
- 2 股ベルトから、股ベルトカバーを引き抜きます。
- 3 背もたれのカバーをはずします。



- 4 背もたれのフック(13カ所)と、座面部のフック(8カ所)をはずします。
- 5 本体からシートクッションをはずします。
- 6 シートクッションから、幼児ベルトと股ベルトを引き抜きます。

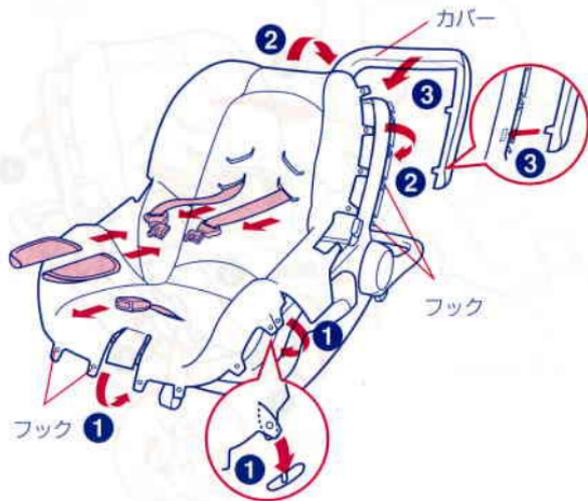


- 背もたれのカバーの付けはずしは多少かたい場合がありますので、指などをはさまないようにしてください。

### シートクッションの取り付けかた

- ① シートクッションを本体の上にかへ、座面部のフック(8カ所)にひっかけます。
- ② 背もたれ部のフック(13カ所)に同様に引っかけます。
- ③ カバーを取り付けます。

- ④ インナークッションを使用するときは、幼児ベルトにインナークッションをかぶせます。
- ⑤ 幼児ベルトに肩ベルトカバーをかぶせます。
- ⑥ 股ベルトに、股ベルトカバーをかぶせます。
- ⑦ 左右の差込タングを組み合わせてバックルに差し込み、調節ボタンを押しながら調節ベルトを引いて、左右の幼児ベルトが調節できることを確認します。



## シートクッション、インナークッション、肩ベルトカバー、股ベルトカバー、フードの洗いかた

●洗濯時は次のことを守ってください。

	液温は30℃を限界とし手洗いしてください。
	塩素系漂白剤は使用しないでください。
	フード以外は、アイロン掛けはしないでください。
	フードは低温でアイロン掛けしてください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干してください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

※インナークッションを洗濯する場合は、スポンジを抜いてください。

## 本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常はかたく絞った布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。

### 警告

- 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

## 保管のしかた

### ●取扱説明書

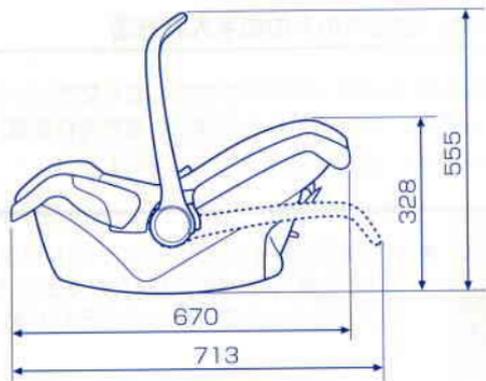
取扱説明書(本書)は、よくお読みのうえ、本体後ろ側の収納ボックスに保管してください。

### ●本体

長期間使用しないときは、車から降りし風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

# 製品仕様

製品サイズ  
(単位：mm)

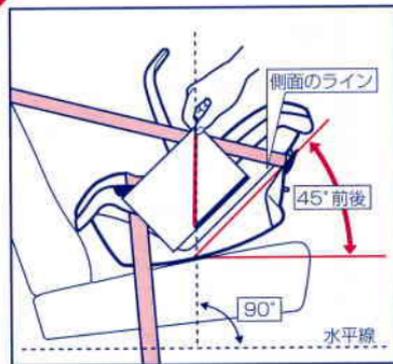


- 製品重量 : 2.8kg  
ケースサイズ : (W)448×(D)308×(H)721mm  
ケース入り重量 : 3.6kg  
主な材質 : ●本体…ポリプロピレン  
●シートクッション  
表生地…ポリエステル、綿混紡  
クッション材…発泡材

## 角度チェッカー

ベビーシートの背もたれは、45度前後にする必要があります。  
図のように、本書の黒いラインをベビーシートの側面ラインに合わせます。  
このとき本書の赤いラインが垂直になったら、約45度の角度です。

角度チェッカー



## コンビ株式会社

製品にお気づきの点がございましたら、「お客様相談室」までご連絡ください。

お客様相談室 / 〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271

TEL. (048) 797-1000

FAX. (048) 798-6109

お客様相談室 / 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-1-10

TEL. (06) 6263-4031

FAX. (06) 6263-4533

(西日本担当)